

ALESIS[®]
PRESTIGE ARTIST

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるといった場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

Prestige Artist 本体

サステインペダル

電源アダプター

ユーザーガイド/保証書(本書)

譜面台

ソフトウェア・ダウンロードカード

サポート

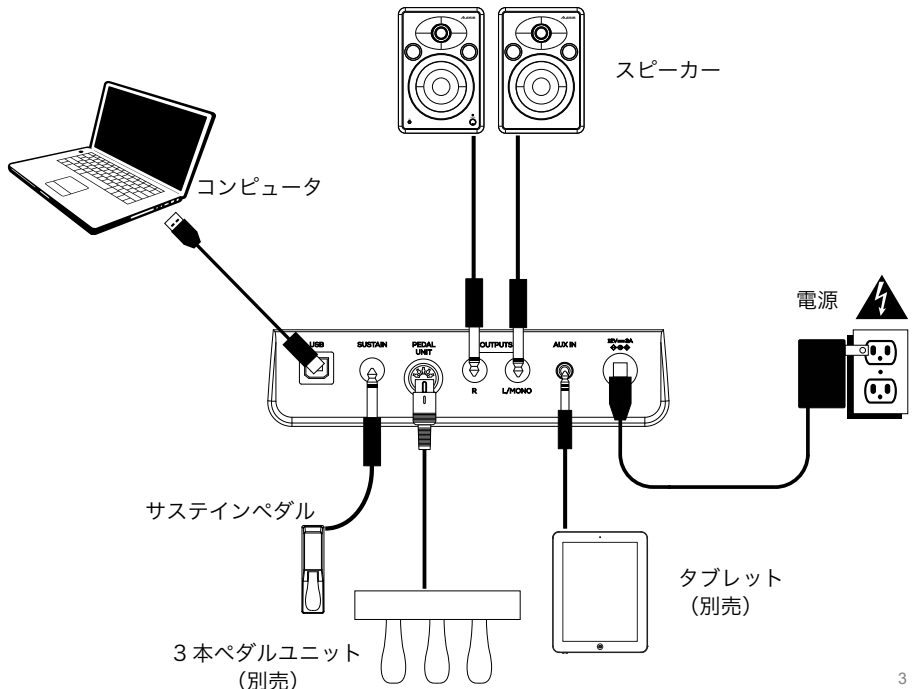
本製品に関する最新情報 (システム要件、互換性情報など) および製品登録は alesis.com をご参照ください。

サポート情報は alesis.jp/support/ をご参照ください。

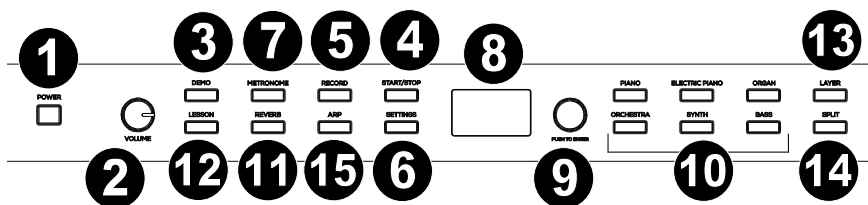
設定

接続例

[はじめに](#) > [同梱品](#) に記載のないものは別売りです。

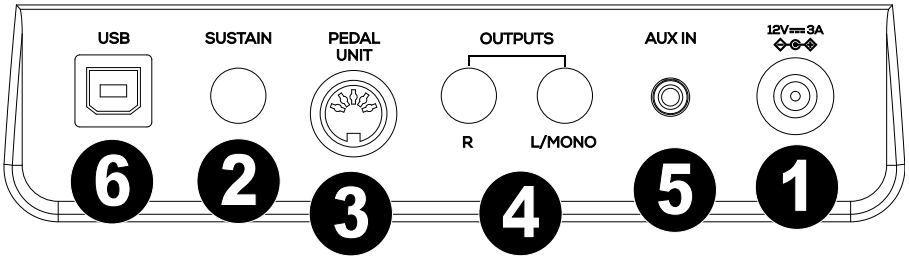


トップパネル



1. **電源スイッチ**：本体電源の ON/OFF を切り替えます。
2. **VOLUME ノブ**：LINE 出力、ヘッドホン出力（1/4"出力および 1/8"出力のいずれか）の音量をこのノブで調節します。
注意：内蔵スピーカーから音が出ない場合、VOLUME ノブが最小の音量に設定されていないか、または**ヘッドホン出力**にヘッドホン（もしくはヘッドホンプラグ）が接続されたままになっていないかご確認ください。**ヘッドホン出力**に（1/4"出力および 1/8"出力のいずれも）ヘッドホンやヘッドホンプラグが接続されたままになっていると、内蔵スピーカーから音は出ません。
3. **DEMO ボタン**：デモの再生/停止はこのボタンで行います。
4. **START/STOP ボタン**：ユーザーソングの再生/停止はこのボタンで行います。
5. **RECORD ボタン**：このボタンを押して Record モードを使用します。
6. **SETTINGS ボタン**：このボタンを押してグローバルメニューで様々な設定を行います。
7. **METRONOME ボタン**：このボタンを押してメトロノームの ON/OFF を切り替えます。
8. **ディスプレイ**：各機能メニューとその設定やパラメーター調節に使用します。
9. **エンコーダーダイヤル/ボタン**：このダイヤルを回し、**ディスプレイ**上のメニューの切り替えやパラメーターの値の変更を行います。
10. **VOICE 選択ボタン**：VOICE プリセットを選択するボタンです。
詳しくは**操作>VOICE**をご参照ください。
11. **REVERB ボタン**：リバーブ機能の ON/OFF を切り替えます。
12. **LESSON ボタン**：レッスンモードの ON/OFF を切り替えます。
13. **LAYER ボタン**：レイヤーモードの ON/OFF を切り替えます。
14. **SPLIT ボタン**：スプリットモードの ON/OFF を切り替えます。
15. **ARP ボタン**：アルペジエーター機能の ON/OFF を切り替えます。

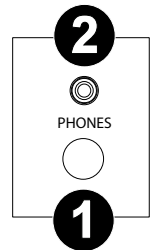
リアパネル



1. **DC電源アダプター入力**：付属のDC電源アダプターをここに接続します。
2. **サステインペダル端子**：サステインペダル（付属）もしくは通常の1/4" (6.35 mm)サステインペダルをここに接続します。
3. **ペダルユニット端子**：3本ペダルユニット（別売）をここに接続します。
4. **LINE出力端子**：アンプ、ミキサー、レコーダーなどの外部オーディオデバイスをここに接続します。ステレオ入力デバイスにはRとLの両方を、モノラル出力デバイスにはLのみ接続します。
5. **AUX入力端子**：モバイルデバイスやオーディオソースをここに接続します。入力音量は接続するデバイス側で調節してください。
6. **USBポート**：接続したコンピュータにMIDIデータを送信します。

フロントパネル

1. **1/4"(6.35 mm)ヘッドホン出力端子**：1/4" (6.35 mm)ステレオヘッドホンをここに接続します。接続するとヘッドホンから音が出ますが、内蔵スピーカーからは音が出ません。
2. **1/8"(3.5 mm)ヘッドホン出力端子**：1/8" (3.5 mm)ステレオミニジャック・ヘッドホンをここに接続します。接続するとヘッドホンから音が出ますが、内蔵スピーカーからは音が出ません。



クイックスタート

デモソングの再生

本機には 10 曲のデモソングが内蔵されています。

- **Fantaisie-Impromptu in C# Minor Opus 66** (即興曲第 4 番 嬰ハ短調 遺作 作品 66)
- **Etude Opus 25 No. 1** (練習曲作品 25-1)
- **Polonaise No. 6 in A Flat Major Opus 53** (ポロネーズ第 6 番変イ長調 作品 53)
- **Sonata No. 16 in C Major** (ピアノソナタ第 16 番ハ長調 K.545)
- **Toccatà and Fugue in D Minor** (トッカータとフーガ ニ短調)
- **Prelude and Fugue No. 30 in D Minor** (前奏曲とフーガ ニ長調)
- **Prelude and Fugue No. 1 in C Major** (前奏曲とフーガ ハ短調)
- **Suite of Minuets in F Major** (メヌエット ヘ長調)
- **Danse des Mirlitons** (くるみ割り人形 第 7 曲 葦笛の踊り)
- **Wedding March** (結婚行進曲)

デモソングを再生するには：

1. **DEMO** ボタンを押します。タイトルの長いデモソング名は、ディスプレイの右から左に流れて行くように表示されます。
2. **エンコーダーダイヤル/ボタン**を回してデモソングを選択します。デモソングは、停止を押すまでリピート再生を続けます。再生中は、**DEMO** ボタンの LED が点滅します。
3. デモソングを停止するには再度 **DEMO** ボタンを押します。

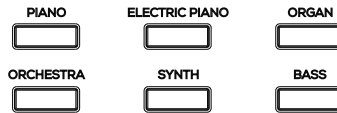
VOICE デモの再生

VOICE 選択ボタンで使用する各 VOICE プリセットには VOICE デモがあります。**DEMO** ボタンを押しながら **VOICE 選択ボタン**の 1 つを押すと VOICE デモが再生されます。

VOICE

VOICE プリセットには 6 つの VOICE カテゴリーがあり、各カテゴリーには 5 種類のバリエーションがあります。計 30 の VOICE から演奏する音色を選択することができます。

VOICE カテゴリー	PIANO	ELECTRIC PIANO	ORGAN	ORCHESTRA	SYNTH	BASS
Variation 1	Grand Piano	MK1 EP	Jazz Organ	String Ensemble	Big Synth	Upright Bass
Variation 2	Dark Piano	Suitcase EP	Rock Organ	Choir	Poly Synth	Electric Bass
Variation 3	Bright Piano	Wurli EP	Overdrive Organ	Vibraphone	Acid Synth	Saw Bass
Variation 4	Upright Piano	FM Piano	Pipe Organ 1	Marimba	Synth Pad	Square Bass
Variation 5	Harpsichord	Clavi	Pipe Organ 2	Celeste	Synth Sweep	Synth Bass



演奏する VOICE を選択するには：

1. **VOICE 選択ボタン**の中から好きなカテゴリーのボタンを 1 つ押し、カテゴリーを選びます。押したボタンの LED が点灯し、ディスプレイに VOICE 名が表示されます。
2. **エンコーダーダイヤル/ボタン**を回すと、ディスプレイに表示されている VOICE 名がカテゴリー内の別の VOICE に切り替わります。**VOICE 選択ボタン**を押すと、ディスプレイに表示されている VOICE を設定することができます。
3. 鍵盤を弾くと選択した VOICE の音色が鳴ります。

レイヤーモード

レイヤーモードでは、2つの異なる VOICE を重ねることで、より豊かな音色で鍵盤を演奏することができます。

レイヤーモードを ON にするには：

1. **LAYER** ボタンを押します。レイヤーモードが ON になり、ボタンの LED が点灯します。ここではレイヤーモードで重ねる2つ目のサブ VOICE を R2 VOICE と呼びます。
2. **エンコーダーダイヤル/ボタン**のダイヤルを回して下記のパラメーターの1つを選択し、ボタンを押すと、各パラメーターの設定を変更することができます。
 - **R1**：レイヤーのメインVOICEを変更することができます。
 - **R2**：レイヤーのサブVOICE (R2 VOICE) を変更することができます。
 - **L1 VOL**：L1 VOICEの音量を1～5の間に設定することができます。

注意：L1 VOICE (後述) のパラメーター設定は、レイヤーモードとスプリットモード (後述) を同時に使用する際のみ表示されます。

- **R1 VOL**：レイヤーのメインVOICEの音量を1～5の間に設定することができます。
 - **R2 VOL**：レイヤーのサブVOICEの音量を1～5の間に設定することができます。
3. 各パラメーターの設定が完了したら**エンコーダーダイヤル/ボタン**のボタンを押し、ダイヤルを回すと別パラメーターを選択することができます。
 4. レイヤーモードをOFFにするには、再度**LAYER**ボタンを押します。レイヤーモードがOFFになり、ボタンのLEDが消灯します。

スプリットモード

スプリットモードを ON にすると、88 鍵盤を左右2つのゾーンに分割し、2つの異なる VOICE をそれぞれのゾーンに割り当てて演奏することができます。例えば、右手側には Piano の VOICE を、左手側には STRINGS/SYNTH カテゴリーの Bass の VOICE を割り当て、同時に演奏するということが可能になります。スプリットモードで左手側のゾーンに割り当てた VOICE を L1 VOICE と呼びます。

スプリットモードを ON にするには：

1. **SPLIT**ボタンを押します。スプリットモードがONになり、ボタンのLEDが点灯します。
2. **SPLIT**ボタンを押しながら**VOICE選択ボタン**を押し、L1 VOICEを選択します。スプリットモードでも、下記のパラメーターの設定を変更することができます。

- **L1**：L1 VOICE (左手側) を変更することができます。
- **SPLIT**：左右2つのゾーンの分割ポイントを設定することができます。

注意：左右の分割ポイントは、エンコーダーダイヤルを任意の位置まで回すか、88 鍵盤のどれか1つを押すことで設定できます。

- **L1 VOL**：L1 VOICEの音量を1～5の間に設定することができます。
- **R1 VOL**：メインVOICE (右手側) の音量を1～5の間に設定することができます。
- **R2 VOL**：右手側メインVOICEに重ねるサブVOICE (R2 VOICE) の音量を1～5の間に設定することができます。

注意：R2 VOICE のパラメーター設定は、スプリットモードとレイヤーモードを同時に使用する際のみ表示されます。

3. 各パラメーターの設定が完了したら**エンコーダーダイヤル/ボタン**のボタンを押し、ダイヤルを回すと別パラメーターを選択することができます。
4. スプリットモードをOFFにするには、再度**SPLITボタン**を押します。レイヤーモードがOFFになり、ボタンのLEDが消灯します。

重要：スプリットモードについて

- SPLITボタンを押しながら88鍵盤のどれか1つを押すと、左右2つのゾーンの分割ポイントを素早く設定することができます。
- スプリットモードでは、レイヤーモードを同時に使用することができます。この場合、レイヤーモードが反映されるのはスプリットモードで分割した右手側メインVOICE (R1 VOICE) のみになります。つまり、分割した左手側のゾーンには1つのVOICEを、右手側のゾーンには2つまでのVOICEを割り当てて演奏することができます。
- レッスンモード（後述）使用中は、スプリットモードは強制的にOFFの状態になります。
- スプリットモードとレイヤーモードを同時に使用する際、3つのVOICEにはそれぞれ異なるVOICEを選択する必要があります。

アドバンス機能

メトロノーム

メトロノーム機能は、一定のテンポで演奏する練習に役立ちます。メトロノーム機能のON/OFFを切り替えるには**METRONOMEボタン**を押します。メトロノーム機能の使用中は、**METRONOMEボタン**のLEDはテンポに合わせて点滅します。メトロノームのテンポ(BPM)は、BPM30~280(毎分30~280拍)まで自由に調整できます。

注意：デモソングの再生中にメトロノームを使用することはできません。

1. メトロノーム機能をONにするには、**METRONOMEボタン**を押します。
2. **エンコーダーダイヤル/ボタン**のダイヤルを回して下記のパラメーターの1つを選択し、ボタンを押すと、各パラメーターの設定を変更することができます。
 - **Tempo**：メトロノームのテンポ(BPM)を変更することができます。
 - **Time Signature**：メトロノームの拍子を変更することができます。
 - **Volume**：メトロノームの音量を1~5の間に設定することができます。
3. 各パラメーターの設定が完了したら**エンコーダーダイヤル/ボタン**のボタンを押し、ダイヤルを回すと別パラメーターを選択することができます。
4. メトロノームの再生/停止を切り替えるには、**START/STOPボタン**を押します。
5. メトロノーム機能をOFFにするには、**METRONOMEボタン**もしくは**START/STOPボタン**を押します。

アルペジエーター

アルペジエーター機能をONにするには：

1. **ARP ボタン**を押します。アルペジエーター機能がONになり、ボタンのLEDが点灯します。
2. **エンコーダーダイヤル/ボタンのダイヤル**を回して下記のパラメーターの1つを選択し、ボタンを押すと、各パラメーターの設定を変更することができます。
 - **Latch**：Latch（固定）機能のON/OFFを切り替えます。OFFに設定すると、鍵盤を押し続けている間だけアルペジオパターンが鳴ります。ONに設定すると、1度鍵盤を押したら指を離してもアルペジオパターンが鳴り続ける設定にすることができます。
 - **Tempo**：アルペジオパターンのテンポを変更することができます。
 - **Type**：アルペジオパターンの種類を以下のいずれかに設定することができます。
 - **UP**：和音の一番低いノートから一番高いノートの順番で発音を繰り返します。
 - **DOWN**：和音の一番高いノートから一番低いノートの順番で発音を繰り返
 - **INCL**：例えば「ド・ミ・ソ」の和音の場合「ド・ミ・ソ」、「ソ・ミ・ド」、「ド・ミ・ソ」、「ソ・ミ・ド」のように発音を繰り返します。
 - **EXCL**：例えば「ド・ミ・ソ」の和音の場合「ド、ミ、ソ、ミ」「ド、ミ、ソ、ミ」のように発音を繰り返します。
 - **ORDER**：キーボードを抑えた順番でアルペジオパターンの発音を繰り返します。
 - **RANDOM**：ランダムな順番でアルペジオパターンの発音を繰り返します。
 - **Time Division**：アルペジオのレート（クオンタイズ：音符の単位）を設定します。設定可能なレート：1/4、1/4T、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32、1/32T（T=Triplet：三連符）
 - **Octave**：アルペジオパターンのオクターブの範囲を設定します。設定可能なアルペジエーター・オクターブ：0、1、2、3
 - **Gate**：アルペジオノートの長さを調節する設定です。5～100%の整数で設定することができ、設定する数字が大きいほどアルペジオノートは長くなります。
 - **Part**：スプリットモードでアルペジエーター機能を使用する際の設定です。下記の1つを選択します。
 - **LOWER**：左右に分割した左手側のみでアルペジエーター機能を使用する設定です。
 - **UPPER**：左右に分割した右手側のみでアルペジエーター機能を使用する設定です。
 - **FULL**：88鍵全域でアルペジエーター機能を使用する設定です。
3. 各パラメーターの設定が完了したら**エンコーダーダイヤル/ボタンのボタン**を押し、ダイヤルを回すと別パラメーターを選択することができます。
4. アルペジエーター機能をOFFにするには、再度**ARPボタン**を押します。アルペジエーター機能がOFFになり、ボタンのLEDが消灯します。

ユーザーソングモード

ユーザーソングを録音/再生するには：

1. **RECORD**ボタンを押し、ユーザーソングモードに入ります。
2. 鍵盤で演奏を始めると録音が始まります。
3. **START/STOP**ボタンを押すか、再度**RECORD**ボタンを押して録音を停止します。
4. 再度**START/STOP**ボタンを押すと、録音したユーザーソングが再生されます。
5. 再度**RECORD**ボタンを押すとディスプレイが録音スタンバイの状態に戻ります。この状態で鍵盤で演奏を始めると録音が始まり、以前のユーザーソングは上書きされます。

注意：手順5で、以前のユーザーソングの上書き録音を行いたくない場合は、鍵盤以外のボタンを押せば上書き録音の開始がキャンセルされます。

重要：ユーザーソングモードについて

- 録音したユーザーソングは、削除するまで本体のメモリに残ります。
- ユーザーソングの録音中に、ユーザーソングの長さが本体の内蔵メモリ容量を超えてしまった場合、ディスプレイに「Memory Full」と表示され、録音が強制的に終了します。それまでの演奏内容はユーザーソングとして自動的に保存されます。

リバーブ

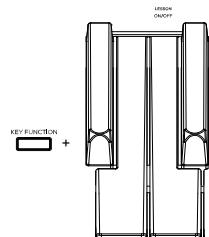
リバーブエフェクトを使用すれば、サウンドにリバーブ効果を加えることができます。

1. **REVERB** ボタンを押します。リバーブエフェクトがONになり、ボタンのLEDが点灯します。
2. **エンコーダーダイヤル/ボタンのダイヤル**を回して下記のパラメーターの1つを選択し、ボタンを押すと、各パラメーターの設定を変更することができます。
 - **Type**：リバーブの種類を設定します。
設定可能なリバーブの種類：**Hall 1、Hall 2、Room、Stage、Plate**
 - **Depth**：リバーブのかかり具合（Depth）を0～100の範囲で設定します。
3. リバーブエフェクトをOFFにするには、再度 **REVERB** ボタンを押します。リバーブエフェクトがOFFになり、ボタンのLEDが消灯します。

レッスンモード

レッスンモード機能を使用すると、88鍵を44鍵づつ、キーボードの真ん中で2つのゾーンに分割し、キーボード一番左の1鍵目～44鍵目と、真ん中の45鍵目～88鍵目の2つのゾーンがそれぞれ同じ音階から始まる設定で演奏することができます。この機能を使用すれば、キーボードの左側と右側でピアノの先生と生徒さんの二手に分かれてレッスンをを行うことなどが可能になります。

LESSONボタンを押すと、レッスンモード機能のON/OFFが切り替わり、ボタンのLEDが点灯/消灯します。



注意：レッスンモード使用中は、レイヤーモードとスプリットモードは強制的に OFF の状態になります。

注意：デモの再生中にレッスンモードを選択することはできません。

設定

その他の設定を変更するには：

1. **SETTINGSボタン**を押します。ディスプレイに設定画面が表示されます。
2. **エンコーダーダイヤル/ボタン**のダイヤルを回して下記のパラメーターの1つを選択し、ボタンを押すと、各パラメーターの設定を変更することができます。
 - **Transpose**：88鍵の全体的なピッチを、上下どちらの方向にも最大1オクターブまで移調することができます。(-12 ~ +12)。
 - **Tune**：88鍵の全体的なピッチを、上下どちらの方向にも50単位まで微調整することができます。(-50 ~ +50)。
 - **Touch Sensitivity**：88鍵のタッチ感度を下記のいずれかの設定から選択することができます。
 - **Fixed**：鍵盤を押さえる強弱に関係無く一定の音量レベルで演奏できる設定です。
 - **Soft**：鍵盤を押さえる強弱により、音量レベルが少しだけ変化する設定です。
 - **Medium**：鍵盤を押さえる強弱により、音量レベルが変化する設定です。この設定が本機におけるタッチ感度のデフォルト設定になっており、通常のピアノのレスポンスに最も近いタッチ感度です。
 - **Hard**：鍵盤を押さえる強弱により音量レベルが大幅に変化する設定です。この設定では、大きい音量レベルを出すには強目に鍵盤を押さえる必要があります。
 - **MIDI Channel**：USB-MIDI出力からのMIDIメッセージの送信に使用するMIDIチャンネルを選択できる設定です。(Omni、1~16)。
 - **Local MIDI**：MIDIのローカルコントロールの設定です。デフォルトの設定では、MIDIのローカルコントロールはONの状態に設定されています。ONに設定すると、鍵盤の演奏がMIDIメッセージとしてUSB-MIDI出力に送信され、演奏する音も本機のスピーカーから聞こえます。OFFに設定すると、鍵盤の演奏はMIDIメッセージとしてUSB-MIDI出力に送信されますが、演奏する音は本機のスピーカーから聞こえなくなります。
 - **Eco Mode**：ECOモード(オートパワーOFF機能)のON/OFFを切り替えます。ONに設定すると、約30分操作をしない状態が続くと自動的に本体の電源がOFFになります。
 - **Factory Reset**：ファクトリーリセット(工場出荷時の状態に戻す)を行う設定です。
3. 各パラメーターの選択や設定が完了したら**エンコーダーダイヤル/ボタン**のボタンを押し、ダイヤルを回すと別パラメーターや設定項目を選択することができます。設定を完了するには再度**SETTINGSボタン**を押します。

付録

技術仕様

Keyboard	88 graded hammer-action keys
Polyphony	256
Sounds	30
Demos	10 piano demo songs
Metronome Tempo Range	30-280
Speakers	Speaker Configuration: Micro-Array Total Amp Power: 50 W (25 W x 2) <ul style="list-style-type: none"> ・ Woofers: (4) 2.5" woofers ・ Passive Radiators: (4) 2.5" passive radiators
Connectors	(2) 1/4" (6.35 mm) TRS line outputs (1) 1/4" (6.35 mm) TRS headphone output (1) 1/8" (3.5 mm) TRS headphone output (1) 1/4" (6.35 mm) TRS sustain pedal input (1) 3-Pedal DIN connector (1) USB Type-B port (1) Power adapter inlet
Power	12V DC 3A, center-pin positive power adapter (included)
Dimensions (W x D x H)	132.2 x 29.7 x 14.9 cm
Weight	12.8 kg

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

商標およびライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc., の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

alesis.com